

8.5 地形・地質

8.5.1 現況調査

(1) 調査事項

計画道路は、図 8.5-1 に示すとおり、急傾斜地崩壊危険箇所及び土砂災害警戒区域等を通過するため、工事の施行中及び完了後において、斜面等の安定性に影響を及ぼす可能性があります。このため、以下の調査項目を選定しました。

- ア 地形・地質の状況
- イ 地盤の状況
- ウ 地下水の状況
- エ 植生の状況
- オ 気象の状況
- カ 土地利用の状況
- キ 法令による基準等

(2) 調査地域

調査地域は、計画道路が通過する急傾斜地崩壊危険箇所及び土砂災害警戒区域等の 5 箇所としました（図 8.5-1～図 8.5-2 参照）。

(3) 調査方法

既存資料の収集・整理及び現地調査を行いました。

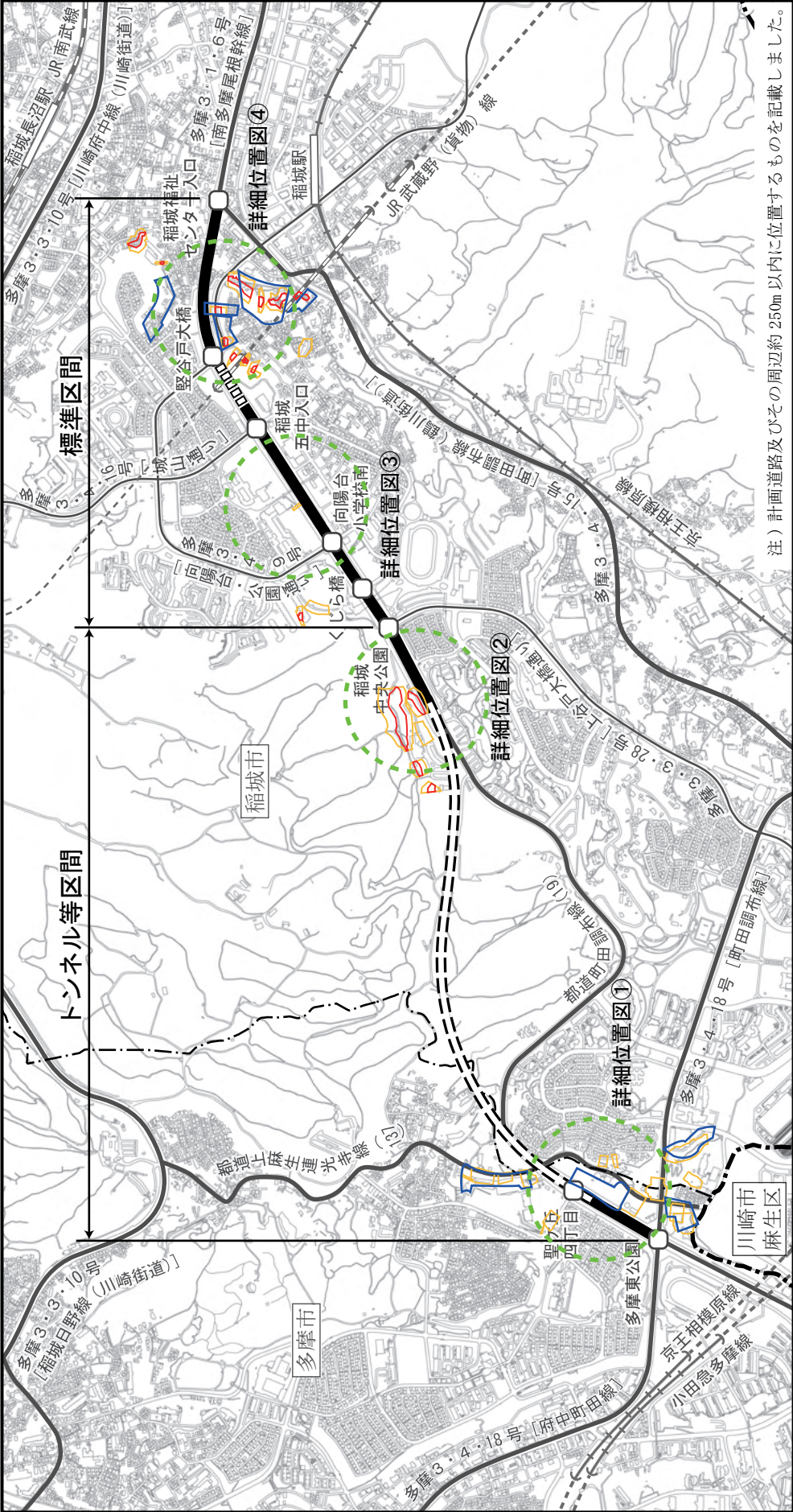
調査方法は、表 8.5-1 に示すとおりです。

表 8.5-1(1) 調査手法

調査事項	使用する主な資料及び調査方法等	備考
ア 地形・地質の状況	a 既存資料調査 ・「地形分類図(八王子・藤沢・上野原)」(平成 7 年 3 月 東京都) ・「地形分類図(東京南西部)」(平成 9 年 3 月 東京都) ・「表層地質図(八王子・藤沢・上野原)」(平成 7 年 3 月 東京都) ・「表層地質図(東京南西部)」(平成 9 年 3 月 東京都) ・「東京都総合地盤図(Ⅱ)山の手・北多摩地区」(平成 2 年 3 月 東京都土木研究所) ・「土砂災害警戒区域等マップ」(令和元年 9 月閲覧 東京都ホームページ) ・「東京の地盤(GIS 版)」 (2014 年 5 月 1 日一部更新 東京都土木技術支援・人材育成センター) b 現地調査 ①調査地点 計画道路が通過する急傾斜地崩壊危険箇所及び土砂災害警戒区域等 図 8.5-1、図 8.5-2 参照 ②調査方法 現状の確認及び計画道路との位置関係の確認 現地での目視確認・写真撮影、計画平面図及び計画断面図との重ね合わせ	最新の資料を参考とした
イ 地盤の状況	a 既存資料調査 ・「水準基標測量成果表」 (平成 26 年～平成 30 年各年版 東京都土木技術支援・人材育成センター) ・「東京都公共基準点・水準基標起点図」 (平成 30 年 12 月閲覧 東京都建設局ホームページ)	

表 8.5-1(2) 調査手法

調査事項	使用する主な資料及び調査方法等	備考
ウ 地下水の状況	a 既存資料調査 ・「平成 28 年 都内の地下水揚水の実態(地下水揚水量調査報告書)」 (平成 30 年 3 月 東京都環境局) ・「東京都の代表的な湧水」(平成 30 年 12 月閲覧 環境省ホームページ) ・「給水拠点・災害対策用井戸マップ」(平成 30 年 12 月閲覧 多摩市ホームページ) ・「応急給水マニュアル」(平成 28 年 6 月 稲城市)	最新の資料を参考とした
エ 植生の状況	a 既存資料調査 ・「自然環境調査 Web-GIS」 (平成 30 年 12 月閲覧 環境省生物多様性センターホームページ)	
オ 気象の状況	a 既存資料調査 ・「気象観測データ」(平成 31 年 1 月閲覧 気象庁ホームページ)	
カ 土地利用の状況	a 既存資料調査 ・「東京都土地利用現況図」(東京都) ・「TAMA NEWTOWN SINCE 1965」 (平成 20 年 4 月 独立行政法人都市再生機構東日本支社ニュータウン事業部)	
キ 法令による基準等	a 既存資料調査 ・「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」(昭和 44 年法律第 57 号) ・「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」 (平成 12 年法律第 57 号) ・「地すべり等防止法」(昭和 33 年法律第 30 号)	



注) 計画道路及びその周辺約250m以内に位置するものを記載しました。

凡 例

計画道路 (平面構造)	〇	交差点
計画道路 (トンネル構造)	—	鉄道
計画道路 (橋りょう構造)	—	急傾斜地崩壊危険箇所
都県界	—	土砂災害警戒区域
市界	—	土砂災害特別警戒区域
道路 (主要地方道・一般都道)	—	詳細位置図 (図 8.5-2 参照)
道路 (計画道路と交差する主な市道)	—	

図 8.5-1 急傾斜地崩壊危険箇所及び土砂災害警戒区域等



凡 例

- 計画道路（平面構造）
- 計画道路（トンネル構造）
- 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所

図8.5-2(1) 計画道路が通過する急傾斜地崩壊危険箇所及び土砂災害警戒区域等（斜面①、②）

- ➡ 写真撮影地点
- 断面位置



1:5,000

0 100 200m

資料：「土砂災害警戒区域等マップ」（令和元年9月閲覧 東京都建設局ホームページ）